

第三者意見



関東学院大学
経済学部経営学科

教授 小山 巖也

前田道路は、これまで『社会・環境報告書』という名称で報告書を発行してきましたが、今年度から『CSR報告書』とこれを改め、再発刊することになりました。ここには同社の強い思いが込められていると見ます。

○CSR経営をふまえた『CSR報告書』へ

この報告書ではCSRが重要な経営基盤になることが明示され、自社を取り巻くステークホルダーの存在が強く意識されるようになりました。具体的に内容を見てみると、何よりもまず環境に配慮した諸技術に目が向きます。例えば、CAE工場については、製造物であるマイルドベースはもとより、工場自体にも優れた技術が隠されていることがわかります。また、バイオマス燃料の活用、LEAB混合物の開発などそのほかの工法・技術も素晴らしい。そうしたことが「環境行動計画と目標（2012年度実績と評価）報告」での技術部門の高評価につながっていると見ています。

また、東日本大震災という未曾有の大災害を受けての諸活動にも注

目ができます。1つめは、継続的な被災地への支援活動です。インフラ整備事業を展開する会社だからできる活動に加えて、被災地の皆さんに寄り添うような活動も行われています。2つめは、災害時の活動・支援拠点となる営業所です。この報告書では武蔵野営業所の事例が紹介されています。災害時には何よりもまず、ライフラインの確保、インフラの復旧が求められますが、そうした活動が迅速に行えるような体制が整っているだけでなく、地域住民への支援にも対応できるような仕組みも整備されています。前田道路のこうした取り組みは高く評価できると思います。

○優れた活動はもっと詳しく丁寧に

しかし、残念ながら、素晴らしい活動が十分に伝え切れていないように感じられました。

例えばCAE工場は、すごい技術を有しているのですから、もっと詳しく丁寧に紹介することで、一般の方でもそのすごさが理解できると思います。「アスファルト合材」という言葉も、一般の方にはそれがどのようなものであるのかわかりませんから、言葉の解説や丁寧な説明があった方が良いでしょう。報告書の読み手を意識して制作することで、より読みやすい冊子になると思います。

また、マイルドベースは近隣の住民の生活環境を大幅に改善する可能性を持つ製品です。別ページでは千葉県での施工事例が記載されていますが、振動問題との関係性など、詳しい説明があれば、より理解が深まると思います。

東九州道森崎地区との交流活動も、取り組みの全体像を写真等を主体として説明してありますが、地域住民の声やこれ以外の地域での活動の存在も紹介すると、より良いと思います。

○さらなる発展のために

報告書の改善点として以下のものを挙げるができます。

第1に、会社概要の部分です。事業活動が一般の方にもわかるように、より具体的に記載することも必要でしょう。

第2に、CSR経営の中身を詳しく説明してほしいということです。コンプライアンスやリスクマネジメント、内部統制の関係性について、またコンプライアンス活動や各種委員会の活動内容についても、具体的に紹介してもらえれば、一般の方にも読みやすく、理解しやすいものになると思います。

第3に、ステークホルダーを意識して記述してほしいということです。どのステークホルダーについて述べているのかが明確でない部分

も多く見受けられます。また、従業員についての記述は、もう少し増やした方が良いでしょう。『CSR報告書』の重要な読み手は従業員と将来の従業員たる学生です。

第4に、「環境行動計画と目標（2012年度実績と評価）報告」において、未達が多いということです。なぜ達成できなかったかの分析が必要です。

以上、色々と言ってきましたが、誠実な『報告書』だと感じました。そうした姿勢で、前田道路のCSR活動がさらに進展していくことを期待したいと思います。

編集後記

2007年から発行を始めた「環境報告書」は、一昨年「社会・環境報告書」となり、さらに今回から「CSR報告書」とタイトルを改め、7冊目の発行となりました。

内容としては、これまで継続してきた活動を主に紹介していますが、「社会性報告」と「環境性報告」の2つの分野を明確にして、編集を行いました。

持続可能な社会づくりには欠かせない道路建設による社会基盤の構築や、「ブロック制」という経営体制に基いた地域社会との繋がりによって、「CSR＝企業の社会的責任」を果たして来たという自負を、この企業に勤める一人ひとりが、心に秘めていると確信しています。

今後は、組織としてのCSR活動を体現するスキームにより、さらに充実したCSR活動を推進していくことが課題だと考えています。

最後になりましたが、本報告書の発行にあたりご協力いただきました皆様方に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ

前田道路株式会社

総務部

〒141-8665

東京都品川区大崎1丁目11番3号

TEL：03-5487-0017

FAX：03-5487-0010

URL：http://www.maedaroad.co.jp

【発行】2013年11月（次回発行予定2014年11月）